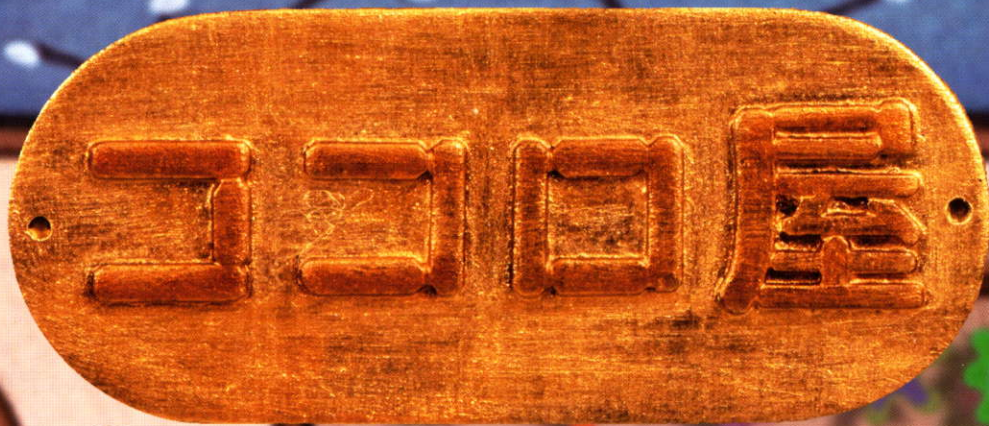


小学校道徳・人権学習教材



予告編配信中!!

教育映像 🔍

<http://www.toei.co.jp/edu/>

対象と用途

小学校—道徳・特別活動
人権学習



東映株式会社 教育映像部

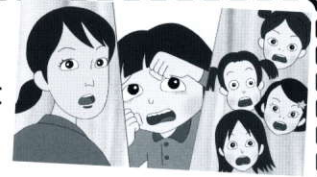
〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17
<http://www.toei.co.jp/edu/>

上映時間25分 字幕版付き

DVD 66,000円 (本体価格)
[C#2969]

※このDVDには、ワークシートをPDF形式で収めています。

企画意図



「ココロ」とは何でしょう?これは、私たちにとって永遠の謎であり、自分の「ココロ」を問い続けることが、私たちの人生のテーマの一つでもあります。

「ココロ屋」は、この謎に向かい合うためのヒントとなる優れた児童文学を原作にしたアニメーションです。学校教育においても、道徳の時間は心についての教育です。また、特別活動も児童の心と行動を育てるための時間であり、総合的な学習の時間なども含め、この教材の活用の機会は多いものと考えられます。

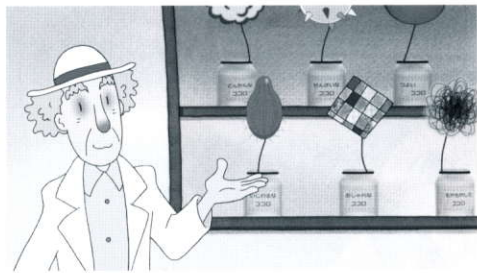
また、自分の心を大切に、相手の心も大切にするという、人権教育の基本的な考え方が盛り込まれています。この作品に登場する「優しいココロ」や「素直なココロ」についてなどは、アサーションの考え方を児童にわかりやすく伝えるためのツールにもなります。

未来を担う児童のための、有用なアニメーション教材としてご活用いただければと思います。



小学校3年生のひろきは友だちとケンカをしてしまい、先生に「心を入れ替えなさい」と言われてしまう。

うまくいかない自分の心を持って余しているひろきの前に、謎の「ココロ屋」が現れる。心を取り替えてくれるというのだ。ひろきはさっそく、「優しいココロ」に心を替えてもらう。



「優しいココロ」に替わったひろきは、最初は調子が良かったものの、優しくすぎて自分の思いを相手に伝えることができなくなってしまう。

「優しいココロ」が合わなかったひろきは、次に、「素直なココロ」に替えてもらう。ひろきが素直に言いすぎることで周囲の軋轢を生み、これもうまくいかない。



次にひろきは「あたたかいココロ」に替えてもらう。しかし、ひろきのココロがあたたかすぎて、周りの人をないがしろにしてしまう。

ひろきはこれも替えてもらうことにする。

ひろきの満足するココロはどこにあるのだろう。



ひろきは、デコボコな形をした天然もののココロを見つける。ココロ屋は、それはひろき自身のココロだと言う。

心は、最初はデコボコでもだんだんと成長するもの。ひろきは、自分の心こそが自分にふさわしいものであり、心を育てていく決心をする。